



森ボラ 通信

第192号 2018年5月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8・ラルズ生活研修センター

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

★2018年度第1回理事会並びに第16回定期総会報告★

5月10日(木)かでの27で15:00から理事会、引き続き15:30より定期総会が開催されました。

総会では冒頭、4月4日に急逝した故和田理事の1分間の黙祷の後、会員26名が出席して議事進行が行われました。

横山理事長のご挨拶では和田さんの残念な結果を踏まえて高齢の皆さんにとって地域の為に社会貢献する事に終生努力して健康第一でこの活動を続けて頂きたいとのご訓示を受けました。

議長に酒井和彦さん。議事録署名人に高野豊さん、大窪健一さんが選出されました。総会審議では第一号議案 2017年度事業報告及び決算報告、第二号議案 2018年度事業計画及び予算計画、第三号議案「森ボラ協議会」に係る件 2017年度事業報告及び決算報告並びに2018年度事業計画及び予算計画は議案通り承認されました。議案内容はホームページに掲載されています。

その他議案として清澤さんの進行で森ボラ緊急対策(現場対応、連絡網、緊急カード)、心のケア等に付いての討論が行われました事を報告いたします。

尚、理事改選では柴野直行氏、斉藤克彦氏の両理事の後任として我満嘉明氏と大窪健一氏が承認されました。柴野様、斉藤様にはこれまでご指導頂きました事に感謝申し上げます。

(文・事務局)



◆リュバン・ド・ヌールのさくらが満開

今年は澄川のサクラの開花を皆で見ようと考え、連休中の5月1日、4日に自然観察会を開催しました。リュバン・ド・ヌール、道新100本のエゾヤマザクラの他に澄川B、E地区に自生しているサクラの開花を確認できました。

また、リュバンのサクラ周りの広葉樹が、次第に大きくなり日照時間が短い懸念がありましたので、広葉樹の枝払いを行いました。今後もサクラの生育に努め、満開のお花見を楽しみにしましょう。(文・檀棒)



活動報告

◆講演会報告

森林再生フォーラム2018 in 北海道の講演会が3月24日札幌市教育文化会館で開催されました。この会は(公)オイスカ北海道支部、北海道森林ボランティア協会、アレフグループ(ビックリド

ンキーやえこりん村を管理している組織)の三者合同の主催で行われ“森を生かす・森に生かされる”を基調に参加者は100名を超え盛会な講演会でした。

基調講演は海岸林再生プロジェクトと題して元新聞記者が見た東北震災後のオイスカが取り組んでいるクロマツ海岸林の再生に向けての活動を元日本経済新聞論説委員の小林省太氏の講演でした。

活動報告2としてえこりん村村長の庄司開作氏からはえこりん村の森づくりと木のお皿と題して経営者の視点から見たお話には沢山の“気づき”を頂きました。

そして活動報告1として我が協会の代表幹事である酒井さんからは「台風被害林での活動報告」と題して報告がありました。

2004年の台風で甚大な被害を受けた支笏湖国有林、野幌森林公園、札幌市都市環境林の復興のために42,000本の針葉樹や広葉樹を植栽して13年になりましたが、森の生長に歓び感じながらの今日この頃です。(文・事務局)



◆4月24日澄川環境林で「初めての植菌作業に参加して」



前回の森ボラ出席から一ヶ月以上過ぎた4月24日。前回はスノーシューをつけての作業でしたが、景色は一変。雪は全て消え、見上げればキタコブシが咲き、湿地では水芭蕉の白さも鮮やかに目に映り、なんと早くもウグイスが啼いていました。季節の移ろいは少々鈍くなった私の感性を目覚まさせてくれるかのようでした。

さて、本題の植菌作業(駒打ちと言うのですね)ですが、表題にある通り私にとって初めての経験でした。まずはホダ木にドリルで穴を開け、開けた穴にタネ駒を差し込み、木槌でしっかり埋め込む作業です。

始めは恐る恐るしていたドリルでの穴あけ作業でしたが、西野さんのリードで面白くなってくると手の痺れも忘れて夢中になってしまいました。作業中もキノコ栽培に適した樹種や水分の話など先輩たちの話を聞くのも楽しくあっという間に時間が過ぎました。

シイタケやナメコの収穫には時間がかかるとのことでしたが、その時間を待つ楽しみも森ボラならではの1日でした。(文・西弘子)

今年のキノコ植菌作業は22日の親子森林教室の20本に加え、24日と27日の分を合わせるとシイタケ98本、ナメコ90本となりました。ブルーシートで覆って6月迄仮伏せし、そのあと本伏せをします。来年の秋の収穫が楽しみです。(迫伸・事務局)

◆第3期森しり隊スタート!

～ 2018年度親子森林教室・森しり隊第1回・第2回活動報告 ～

4月1日、2018年度親子森林教室・森しり隊開校式(第1回)が新しい隊員3名(5名欠席)と継続隊員1名を迎え、保護者・協会会員16名を加えて総勢20名の参加で開催されました。m

協会員の自己紹介の後、隊員が名前、学年、森しり隊でやりたいこと、保護者の紹介をしました。

蘭さんはきのこの植菌が楽しかったと昨年の感想を話してくれました。友子さんは虫を探したい、海遥さんはドングリそろばんが楽しみ、木下さんのお母さんからは就太郎君は虫採りを真緒さん



第2回～初めての澄川の森に集合

はドングリそろばんを楽しみにしていますと森しり隊への期待を話してくれました。

主催者挨拶では酒井代表が一年間森しり隊の一員となってボランティアとして森を守ることを学び、森の活動を楽しんでほしいと話しました。今回のテーマの「木や森に関心を持つ」に沿って澄川の森の様子や役割と昨年の活動をスライドで見たあと、一年間の活動スケジュール、一日の活動スケジュールや安全に活動するための約束事などの説明を受けました。

「木の利用」の学習ではいろいろな品物が並べられた机を親子で囲み木から作られているものを選んで、様々なものに木が利用されていることを知りました。ネームプレートや季節ごとの葉を押し花にして作るマイリーフ作り方の説明を受け、最後にみんなで森しり隊の旗を掲げて記念撮影をしました。隊員は4名しか出席できませんでしたが、なごやかな開校式でした。



第1回～木の学習で、木から作られているものを真剣に選ぶ

4月22日第2回親子森林教室が隊員7名、幼児1名、保護者6名、協会員14名の総勢28名が参加して澄川環境林で開催されました。

朝礼、体操、一日のスケジュールの説明の後、田山さんの指導でネームプレート作りしました。それぞれが用意したデザインをバーニードペンで焼き付けニス塗りを施して完成です。道具も十分いきわたり、親子で相談しながら楽しく作ることが出来ました。この時間、継続隊員の蘭ちゃんは、お母さんとふうふう言いながらリヤカーを引き、植菌用の楢木を運びました。



第2回～植菌作業を体験

次は清澤さんによる「木の構造と働き」の学習でした。大きな絵や実物で、木の形と幹の構造やそれぞれの部位の役割が分かりやすく説明されました。10メートルの高さの木の上、中、下3か所の断面の年輪を数えて、違いがあることを知りました。隊員は集中して聞く事が出来ました。

昼食後、酒井さんの話を聞きながら「春の森歩き」をしました。露出している木の根を見ながら、根と菌と土の関係の

話を聞き、クマゲラの食痕を見、エゾサンショウウオやエゾアカガエルの産卵池を見、上流橋で咲き広がるミズバショウの花を見ながら木の音の話を聞きました。その音は木の中を流れる水の音ではなく空気の波動が枝に伝わって作られる音で、フィンランドの作家リーター ヤロネンの「木の音を聞く」(猫の言葉社)に綴られているように、人の気持ちでさまざまに聞こえるそうです。実際に聴診器を使って聞いてみました。さて、どんな音が聞こえたでしょう。

最後は樞棒さんの指導のもと、一人が2本の楢木に植菌をしました。この作業が楽しかったとの感想が多く聞かれました。写真を撮って終了しましたが、就太郎君の「あー楽しかった！」の言葉に疲れも消えた協会員も多かったのではないのでしょうか？

清澤さんが出した「木が4つの漢字を何と読む？」のクイズについて、酒井さんからのコメント 清澤さんの木が4個でジャングルの話はいいいですね！

ただし後日父兄から質問が出るかもしれないので以下の共通認識を持っていたい。

FAOが森林の規定をし、面積0.3ヘクタール樹高が5m樹冠率30%以上の木の集まりで果樹園を除くのを森林としました。従って街路樹も森林ではありません。

昔は木の集まりが林で鎮守の森など概念上の木の集まりを森としたりしていましたが現在は中国語からの森林が主流です。林学が今や森林科学です。尚森林に満たない木の集まりは木立 (Woods Stand) で森林 (Forest) の上は密林 (Selva) で私たちの学校の会はSilva会です。英語圏の人たちはJungleと言っていますが中南米ではSelvaです。熱帯雨林です。(文・佐野)



■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・檀棒・加藤・酒井・佐野・高野・釣井・西野・矢澤

1. 2018年6月、7月スケジュール・・・6月幹事会 6月8日（金）
2. 親子森林教室・・・4月22日第二回親子森林教室の報告
3. 2018年度森林・山林多面的發揮機能対策計画・・・
4. 総会・理事会5月10日（木）かでの27・・・理事会と総会の流れ確認
5. 現場救急対策方針検討・・・総会時にその他議案で検討
 - ①森ボラ救急対策
 - ②緊急連絡カードの作成と携帯について
 - ③装備品の常設
 - ④心のケア
6. 会員増強委員会」の立ち上げ（現場対応、情報発信、チラシ作成等）・・・テレワークで進行
委員会メンバーには幹事会4名（檀棒、佐野、清澤、大窪、市山）
会員から7名（三橋、矢野、柿沼、合田、早坂、西弘子、日沼）
7. 現場対応
 - 5月9日（火）烏柵舞・水明郷・・・キャリコで苗搬送
 - 5月12日（土）ニトリザクラ5本澄川搬入・・・駐車場（3本）と避難小屋付近（2本）
 - 5月15日（火）澄南小4年生（53名）マイツリー観察・・・遊歩道、樹木園の安全確認
 - 5月19日（土）ローソン社員澄川自然体験学習・・・植栽地E-2整備、伐木の選定
 - 5月22日（火）・23（水）烏柵舞の森・・・施肥試験、シラカンバの除伐
8. その他
 - ・幹事会組織の変更（副代表2名体制/新設）と代表幹事の退任報告
副代表2名体制の組織変更を実施しました
新、副代表幹事 檀棒典夫さん
新、副代表幹事 清澤通俊さん
※代表幹事退任・荻田雄輔さんは代表幹事を退任、引続き幹事として就任します。
 - ・2018年4月会計報告

■活動履歴

月 日	行事・活動地	参加数	活動内容
4月20日（金）	ラルズ生活研究C	10	臨時幹事会（総会議事録読み合わせ）
4月22日（日）	澄川	14	第二回親子森林教室
4月24日（火）	澄川	11	E-5 整理伐の選木（180本）
4月27日（金）	澄川	15	キノコホダ木植菌（シイタケ78本、ナメコ90本）
5月1日（火）	澄川	15	支柱皮むき及び材運搬・アライグマ用電気柵設置
5月2日（水）	ラルズ生活研究C	10	幹事会
5月4日（金）	澄川	9	駐車場周りの冬囲い撤去と枝打ち
5月7日（月）	澄川	17	E-2 ローソン植栽用竹支柱設置（130本）
5月9日（水）	支笏湖CGCの森	12	烏柵舞、水明郷状況調査
5月10日（木）	かでの27	26	第1回理事会、第16回総会
5月12日（土）	澄川	14	中流木道橋の整備・ニトリザクラ5本植栽